

2022年度水俣学講義のまとめ

水俣病と水俣学の将来展望

中地 重晴

熊本学園大学社会福祉学部

水俣学研究センター

今日のお話

- まず事実から出発しよう
- なぜ水俣病問題は解決しないのか
- なくなるしない差別発言
- 水俣学とは何か
- 水俣学の課題と展望

あらためてお伝えしたいこと

水俣学とは、人類の経験した公害，水俣病の負の遺産（失敗の経験）に学び，将来に活かす学問

- ▶ 水俣病の60年の歴史を学び，今なお残されている課題を理解すること
- ▶ 水俣病という公害が，学校の中で習った過去の問題ではなく，いまなお終わっていないこと
- ▶ ひとりひとりの暮らしのあり方を考え直すきっかけを得ること

水俣学とは：壁を越える学問

- 専門家と素人の壁を越える学問
 - 専門家の愚かさに気がつきましょう。「素人」ととは？
 - 大工は家作りの専門家、法律では素人
 - 学者・研究者は何の専門家？
- 専門分野の壁を越える学問
 - 学際的な調査研究と教育
- 国境の壁を越える学問
 - 国際的な学術交流、共同研究、共同の企画
 - 国境の外から見えてくること
- 他にもいろいろな壁がありそうです
 - 世代間の壁
 - 地域の壁
 - 様々な立場の壁（公務員だから、会社員だから・・・

今年度の水俣学講義では 様々の立場の様々な分野の人々を迎えました

- 大学の研究者：花田昌宣、田尻雅美、井上ゆかり、中地重晴、調漸
- 水俣病患者：佐藤スエミ
- 支援者：藤本寿子（水俣）、萩野直路（新潟）
- 芸術分野：石川武志（写真家）、映像上映2本
- 医師：副島秀久（熊本・済生会）
- 行政：川野恵治（水俣）
- 法曹家：佐伯良祐（弁護士・大阪）
- ジャーナリスト：久間孝志（熊日）

水俣学の出発点： まず事実からはじめよう



百間排水口（1970s）ここから工場の廃水が無処理で排出され汚染が拡大した
排水口はここだけではありません。（丸島にも八幡にもあります。しかし訪問するのはここ）

- そのときの海は
- 百間排水口の水銀ヘドロ



そして今、

現在の百間排水口：きれいになったのか隠されたのか



水俣病の患者・被害者はどれだけいるのか

- 1) 正しい解答はない
- 2) およそ10万人は下らない

新規発生はないが
潜在被害者が少しずつ表に出てきている

水俣病被害の状況（2020年4月30日現在）

県別/項目	申請実数	処分数		未処分
		認定	棄却	未審査
熊本県	15,208	1790 (1548)	12,996	422
内水俣市	5,006	965	3,988	53
鹿児島県	5,796	493 (413)	4,209	1,094
合計	21004	2,283 (1961)	17,205	1,516

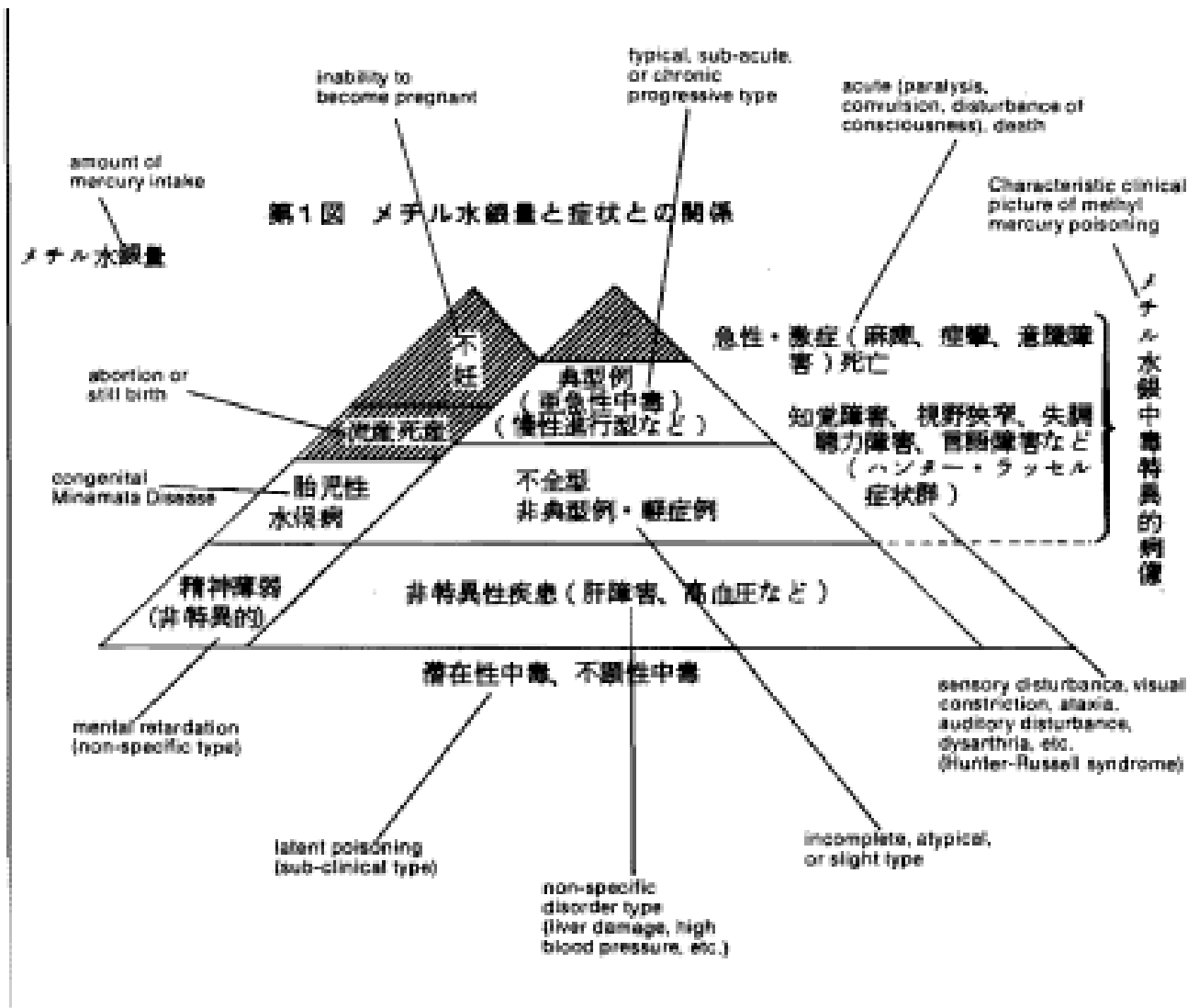
表中で、（ ）は死亡者数再掲

水俣病資料館 <https://minamata195651.jp/list.html#3>

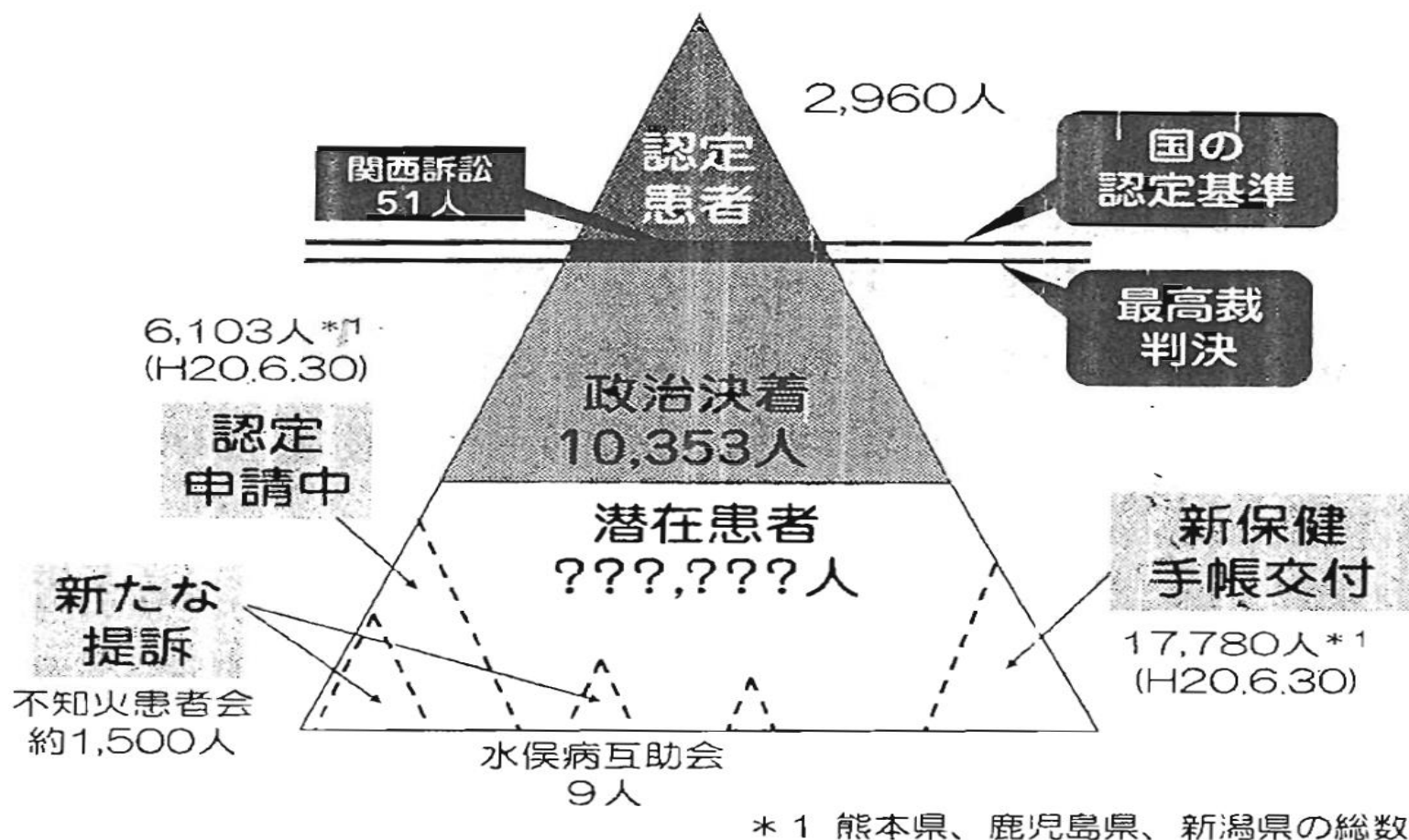
	熊本県	鹿児島県	備考
95年政治的和解 総合対策医療事業	12,374人 (医療手帳11,152人、保健手帳1,222人)		平成27年環境白書 314～315P
平成17年10月～22年7 月総合対策医療事業	28,364人（保健手帳）		平成27年環境白書 314～315P
特措法による給付対象 者：被害者手帳	22,816人	13,545人	2014年8月29日熊本 県報道資料

メチル水銀量と症状との関係

(原田 正純による)



水俣病被害の構図



特措法による申請者約65000人

それ以外(地域外、若年など)にも潜在患者は存在する

なぜ、現在も水俣病の被害があるのか

■ 水俣病は新規に発生しているのか？

1971年 100名余り

現在 認定患者 2287名（新潟含め2300名）

被害救済給付対象者数 6万人あまり

推定合計 10万人を下らない（95年の政治解決、潜在数）当時不知火海沿岸には20万人生活していた

■ 新たな水俣病患者とは誰か

■ なぜ、現在も増え続けるのか

なぜ水俣病は解決しないのか

- 水俣病のすべての被害者を補償、救済対象とすべきである一食中毒事件としての解決法
- 水俣病患者の定義は医学ではなく行政が判断
- 特措法で救済されない被害者（居住地域、生年が対象外）が、補償を求めて提訴
- PPP（汚染者負担の）原則があいまい
チツソと国の責任が不明確
- 環境省「水俣病に係る懇談会」提言
- 特措法により、チツソ分社化の容認と国の責任のあいまい化
- 最高裁判決が出ても国は認定基準を変更せず、被害者が補償・救済されない構図が残されたまま

なぜ潜在しているのか 水俣病に対する差別と潜在患者

- 病者に対する差別
 - 差別されてきた水俣病患者
 - 結婚、就職、
- 水俣病に対する差別と偏見
 - 2010年6月のサッカー事件
- 皆さんは、過去に水俣病の何を習ってきたか

繰り返される水俣病差別発言事件

水俣の中学生に差別的発言

水俣市の中学生が8月上旬、県内の他市の中学校とのサッカーの練習試合中、相手側の生徒から「水俣病、触るな」と差別的な発言を受けたことが、14日分かった。

両市の教育委員会など。

とによると、試合の接戦中、1人の中学生が発言したと、相手側の生徒が証言したと、両市教育委員会など。

「水俣病、触るな」

試合直後、水俣市の中学生が水俣病を正しく側の監督からの指摘を受け、チーム関係者で取り組んでほしいと、両市教育委員会など。

その後、校長と教育委員会が水俣市を訪れ、相手側の監督と話し合った。また、県教育委員会も水俣市を訪れ、相手側の監督と話し合った。また、県教育委員会も水俣市を訪れ、相手側の監督と話し合った。

同様の発言は「今回、水俣市を訪れ、相手側の監督と話し合った。」

サッカーの試合 指摘で謝罪

理解進める講話や研修も

新聞報道 (2)

• 1997年6月 サッカー大会 (人吉)

平成 9 年 (1997 年) 6 月 8 日 日曜日 社 会 3 版 24

人吉市で五月下旬に開かれた同市サッカー協会招待中学生大会で、鹿児島、宮崎両県から参加したチームの選手が水俣市の二校の生徒に「水俣病にかかるなよ」などと発言、同県チームの校長らが水俣市の関係者らに謝罪していたことが七日までに分かった。

水俣市教委などによると、同大会は五月二十四、二十五日に開かれ、熊本、鹿児島、宮崎の各県から十五チームが参加。二会場に分かれて試合があった。このうち、同市のチームと対戦した宮崎県のチームの選手一人が試合終了後のあいさつの際、「水俣病にかかるなよ」と発言。また別の会場では鹿児島県のチームの選手一人が同市のチームとの試合中、「水俣病」「チビ」「雑魚」などと声を出していたという。

大会後、鹿児島県北薩教

「水俣病にかかるなよ」

招待サッカー大会で 水俣の生徒に発言
宮崎、鹿児島の中学生

青事務所に匿名の抗議の電話があったため、同県中学校の校長、本人らが相手校、同市教委を訪れ謝罪した。同市教委は同校に、環境問題本やビデオなどを渡し「水俣病についての正しい認識を生徒たちに教えてほしい」と要請。また、同市でも臨時の小中学校長会を開き、水俣病問題を正しく伝えることができる子どもを育てる教育の充実を確認したという。

宮崎県のチームと対戦した同市の中学校校長は「発言した生徒は十分反省しているようだった。今後、再試合をしようと生徒同士で話し合った」、田村耕紀・同市教育長は「市内の小中学校だけでなく対外的にも、機会あるごとに(水俣病への)正しい理解を訴えていきたい」とそれぞれ話している。

何故起きたのか（外からの眼）

- 水俣病を見る眼こそが問われている
- 誰が中傷されているのか・何が差別されているのか
- 水俣出身者なのか
- 水俣病患者なのか

水俣病は終わっていない 継続する被害者の闘い・訴訟



熊本地方裁判所前の患者集会

水俣学とは何か

あらためて、専門家と素人の協同の可能性

(1)それぞれが「専門家」で、かつそれぞれが「素人」

水俣病の問題は多様な側面をもっている

(2)研究者の知と現場の人の知の融合
大学の研究者が玄人という訳ではない

水俣学の方法論

(2) 学際的であるということ

- 公害病は、医学の課題にしてはならない
- 公害を法的紛争だけに限局してはならない
- 様々な学問分野の融合が必要だ
 - 医学（副島、調：医師）
 - 法学（弁護士：佐伯）
 - 自然科学（中地：環境化学）
 - 社会科学（花田：社会政策学）
 - 社会福祉学（田尻、井上）

多様な学問の学際研究

【検証課題】

- 多様な学問分野の「学者」たちの共同研究なのか、
- 一人ひとりが、「学際的」になることなのか
- 研究者の「専門」へのこだわりの限界：そこからは見えてこない

【水俣学がしてきたこと】

- 多分野の研究者による研究チーム
- 共著書の刊行『水俣からのレイトレッスン』（水俣学ブックレット）、『水俣学研究序説』（藤原書店）

【水俣学の教育】

- 水俣学講義『水俣学講義』（日本評論社、第1～第5集）

水俣学の方法論

(3) 現場に学び、現場に返す

- 現地に立つということ／現地に学ぶということ
 - － 福祉環境学入門・福祉環境論特講 水俣研修
 - － 大学院フィールドワーク
 - － 水俣だけではありません。現場に立たないと物事は見えてきません。
- 現地に返すということ
 - － 調査のやりっ放し、専門的報告書で終らない→収奪型調査の拒否
 - － 成果の報告：市民講座や地域での報告会
 - － 現場の課題に関わっていくこと

市民との協同一海の生き物調査



土壌汚染の調査結果を2015年1月に公表し、社会に問題提起した

- No.3と4で、第二溶出基準を超える水銀が確認、地下水利用の可能性があれば、掘削除去対策を講じる必要
- 含有量基準も超えているので、表面を盛土するなどの対策が必要、また、No.1と18では、鉛が含有量基準を超えており、表面を盛土するなどの対策が必要
- 熊本県に調査結果を報告し、土壌汚染対策法に基づく詳細調査を要求したが、未実施
- 発表後、2か月後に、JNCが独自に汚染土壌の飛散防止対策を行った
- 水俣市が2016年度周辺環境調査を行う予定、調査予算計上

土壤汚染については、JNCが法を無視して、異常で迅速な対応を行った



水俣学の方法論

(4) 国内外への発信：世界に開かれた学問

- 世界にひらかれていること
- 海外調査と研究交流

【検証課題】

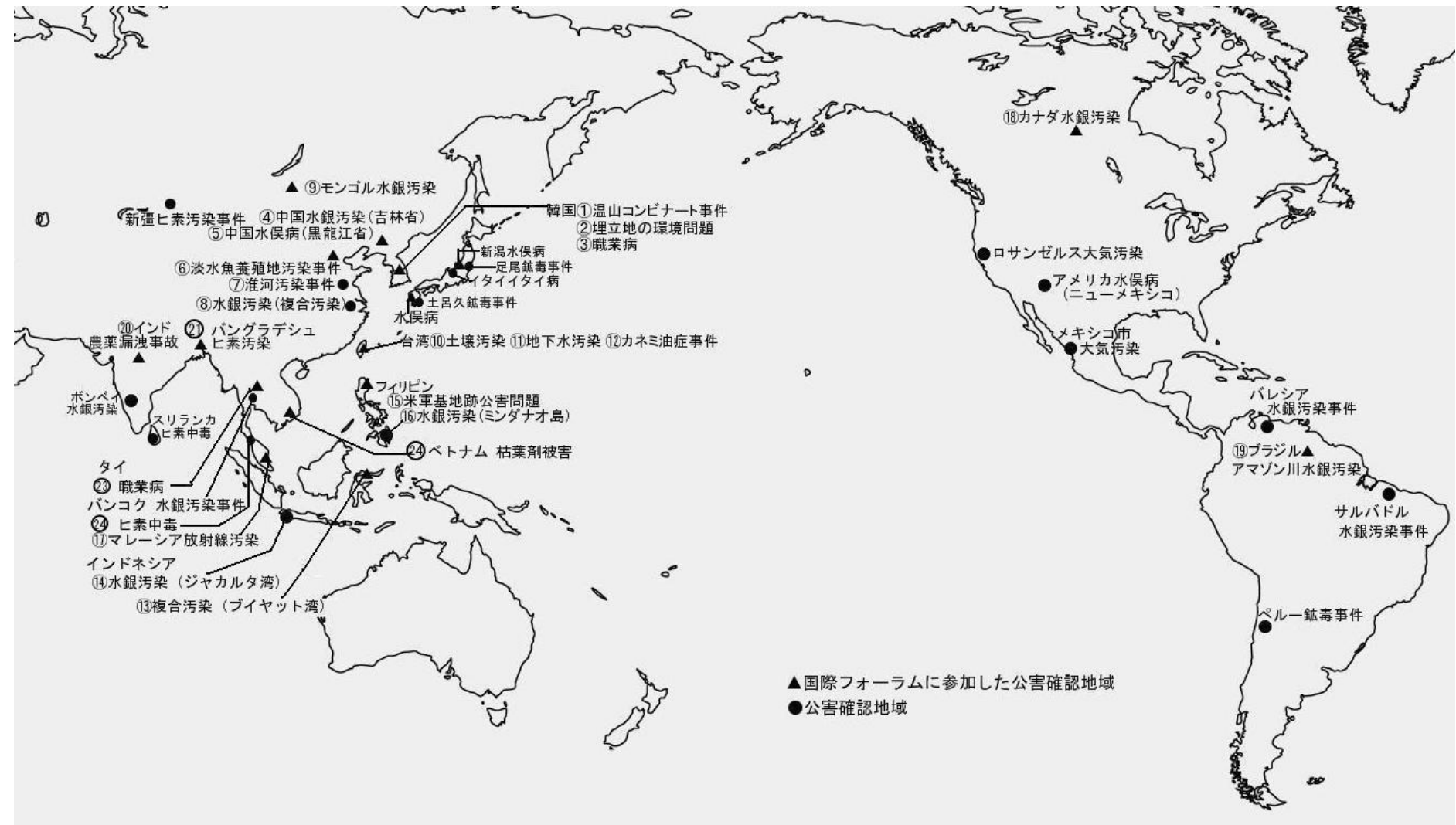
- 先進国日本の公害病：教訓とは？伝わるのか？
- 何を発信するのか
- 誰とつながるのか

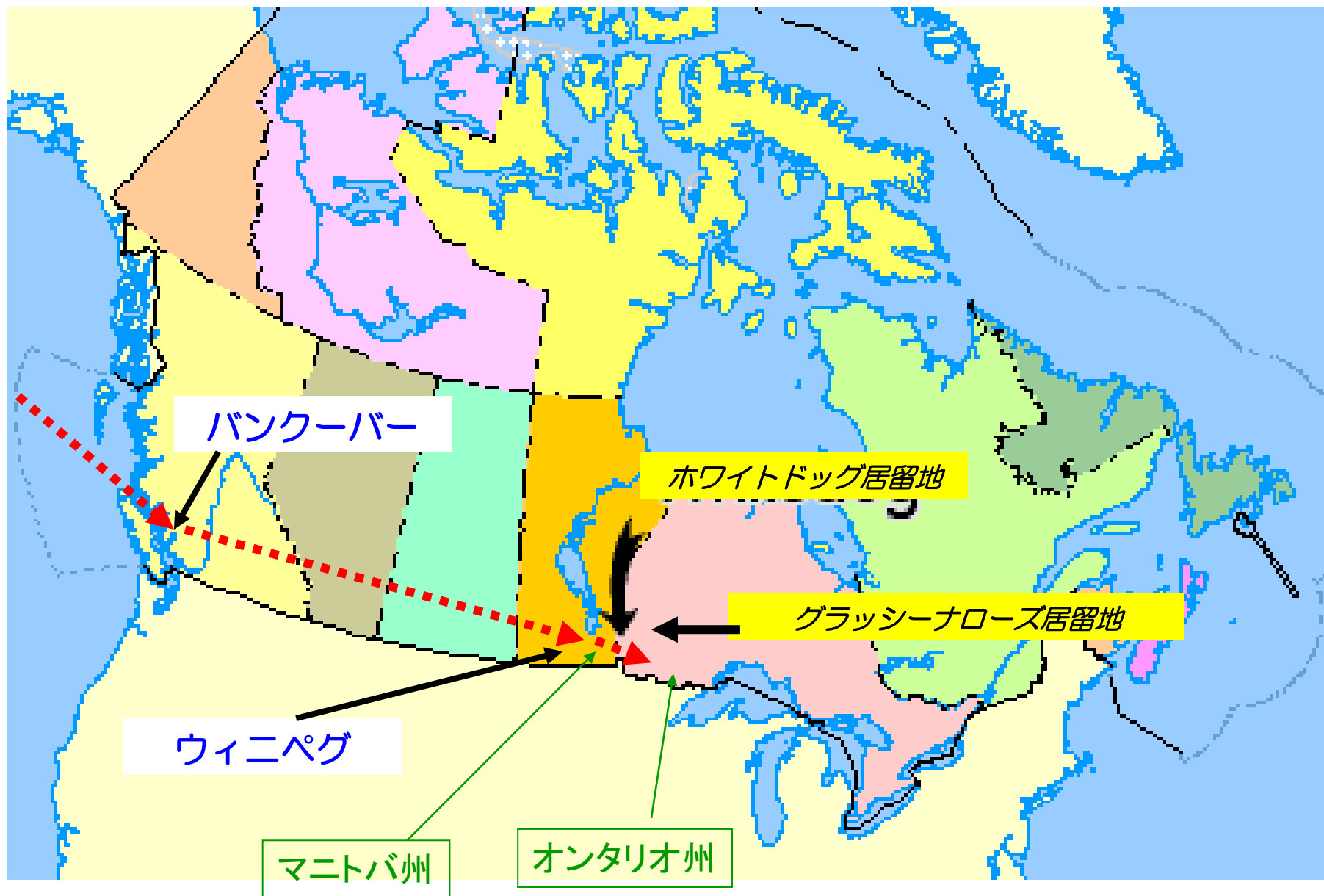
国内外への発信：世界に開かれた学問

【水俣学がしてきたこと】

- 国際フォーラム：水俣病の経験はいかされたか：第一回 2006年9月、第二回 2013年9月（熊本と水俣） 第3回：2019年2月
- 世界の課題の調査（継続的調査中）
 - － カナダ水俣病の調査
 - － タイ・ミャンマーの公害の現地調査
 - － 中国の環境汚染の現地調査
 - － 韓国環境問題
 - － 台湾のダイオキシン汚染
- 【水俣学の教育】大学院FW：韓国研修、タイ、台湾

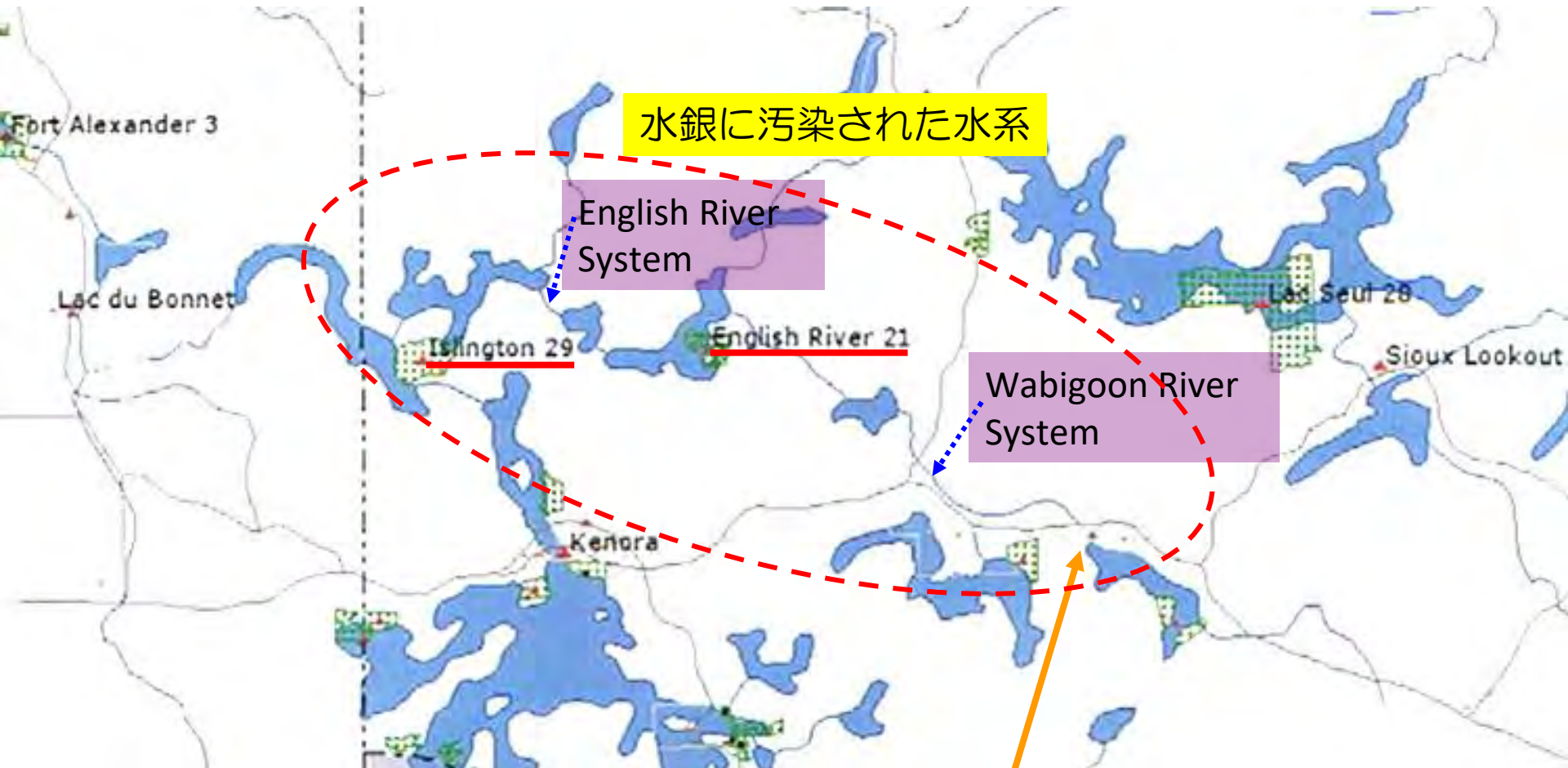
世界を駆け巡った原田先生の行動地図







Wabigoon-English River System



Islington 29: Whitedog
English River 21: Grassy Narrows

0 20 40 60 80 km
32

カナダ先住民の水俣病被害調査 (2014年8月)



カナダ先住民の水俣病被害調査 (2014年8月)





魚の調査結果について

- 3枚におろした切り身から2試料を採取し、測定した
- Walleyeが、0.38～1.65ppm、Northan Pikeが0.57～0.81ppmと、総水銀濃度は高かった
- 2種類の肉食魚、6尾とも、日本の暫定基準（総水銀0.4ppm）を超えていた
- 2003年のDr. Chanらの調査でも、Walleyeの240検体の平均値が0.964ppm、Northan Pike 193検体の平均値が0.90ppmであり、今回の魚の測定値と同じレベルであることがわかる
- 単純に水俣と比較することはできないが、湖・川の底質の汚染が継続していると考えられた

毛髪中水銀濃度について

- 今回測定した73名の毛髪中の水銀濃度は、男性の平均値は1.36ppm、濃度範囲は、0.05ppm～9.41ppm
- 女性の平均値は0.53ppm、濃度範囲は、0.03ppm～2.65ppm
- 水銀で汚染された魚を食べていないために、全体的に毛髪中総水銀濃度は低かったと考えられる
- 魚を食べる回数の多い人に、毛髪中総水銀濃度が高くなる傾向が確認された
- 一般人の耐容許容摂取量(5ppm)を超える人は、何らかの健康影響が出る可能性があるので、魚食を控えるべきである

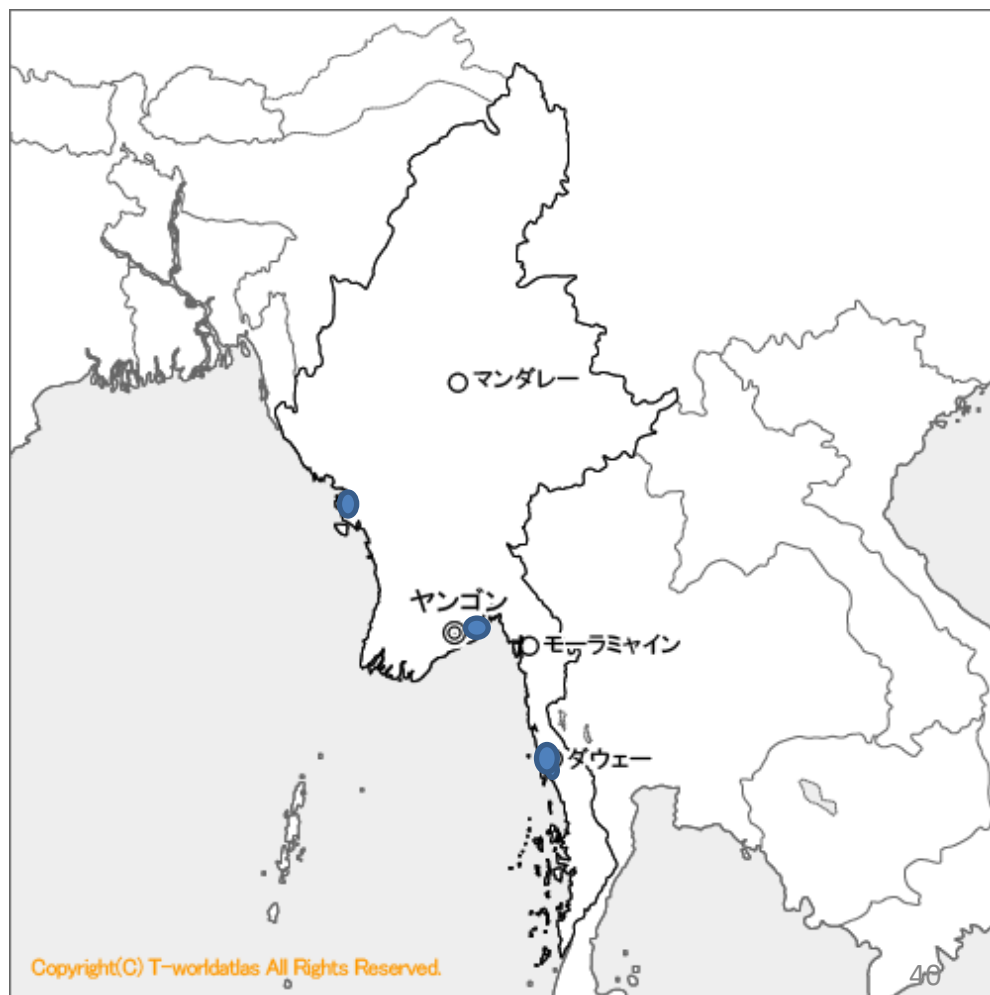
大学院国際フィールドワーク、タイに同行 (2008年)



マプタプット臨海工業団地と住民との共存・リスクコミュニケーションの研究



ミャンマーの経済特区(工業団地開発予定地)



造成中のティラワ工業団地



移転させられた住宅



水俣の教訓を各地に

- 福島・東北の被災調査と交流
- 三池CO被害者との交流・研究
- 苓北火電と天草環境会議
- 沖縄基地被害
- 様々な公害被害発生地域の現地調査・共同調査（土呂久鉍毒事件、カネミ油症など）

熊本学園大学 水俣学研究センター

ナンバーワンじゃないかもしれないけど
オンリーワン！さらに第二第三の水俣学を！！



水俣学現地研究センター(水俣市)



90 km
(新幹線で25分)



水俣学研究センター(熊本学園大学)

袋湾

水俣湾埋立地

百間排水口

水俣駅

チッソ
水俣工場

八幡残渣プール

国道3号線

水俣川

水俣学現地
研究センター

航空写真 2007





丸島
漁港

八幡
残渣プール

水俣エコタウン

チッソ
水俣工場

八幡社宅跡

水俣川

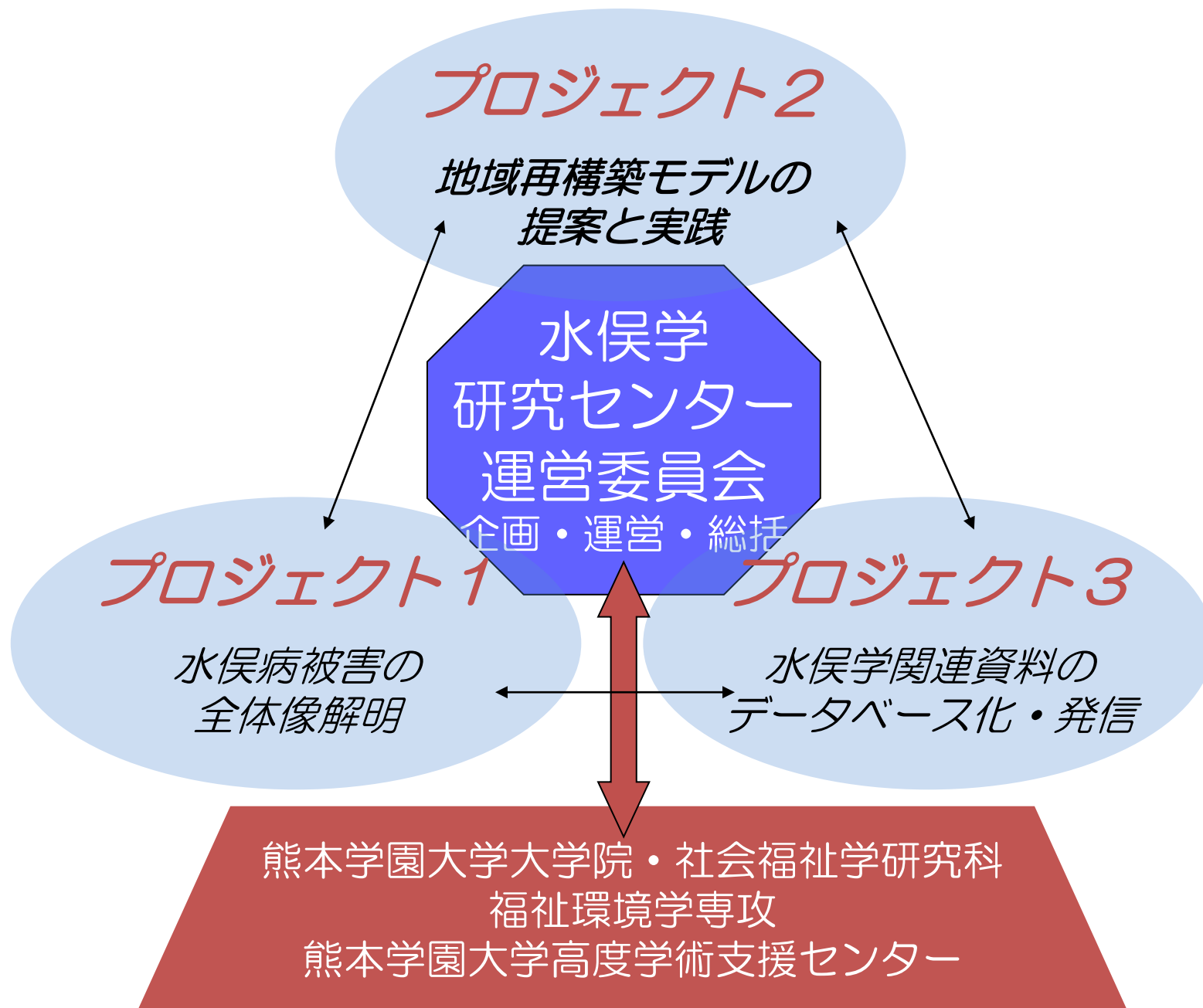
水俣市公民館

水俣学現地
研究センター

水光社

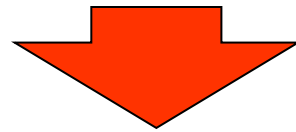
国道3号線

エムズ



水俣学と水俣学研究センター

- ✓ 「失敗の教訓」を将来に活かす学問です
- ✓ 専門の枠組みを超えた学際的な学問です
- ✓ 「素人」と「専門家」の枠組みを越え、すべての生活者にかかれた学問です
- ✓ 豊富な真実のある現場に根ざした学問です

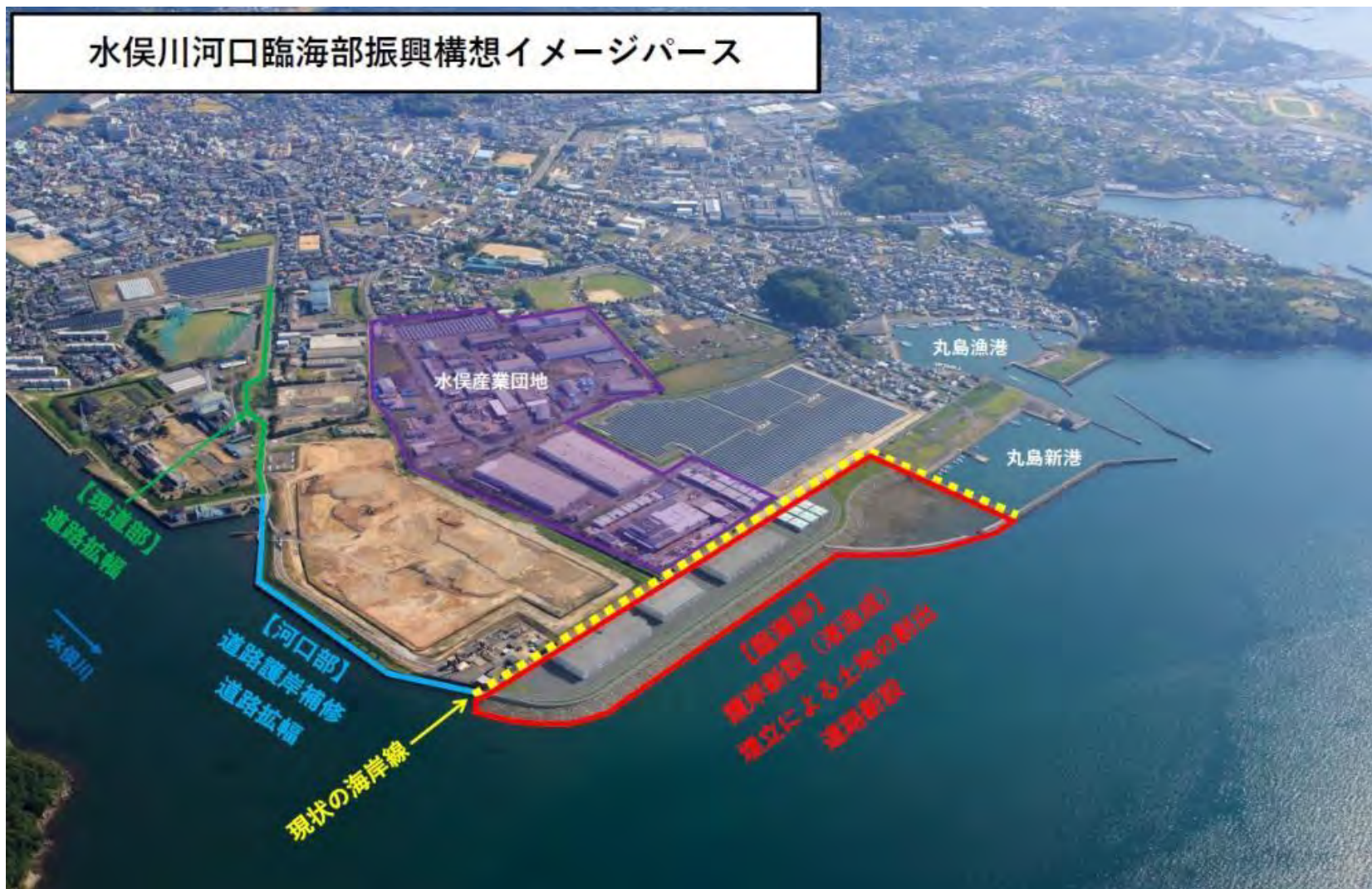


- ✓ 全ての成果を地元に還元し、世界に発信する学問です
- ✓ 一人ひとりの生き方と、現在の社会・経済システムのあり方を問い直す学問です



水俣川河口臨海部振興構想計画

2016年～2029年南九州自動車道工事の残土で埋立て



水俣学の課題 その1

- 水俣病は終わっていない
- 事実の解明：被害総体も分かっていない
- 反省と教訓：「教訓」とは終わった事件について語ること→失敗の連鎖
- 社会的な応答可能性：次の世代に伝えることと、今の課題に応えること

水俣学の課題 その2

- 学としての水俣学の課題
 - 現実からの要請 誰のための学問か
 - 被害者・患者、地域住民に役立つ学問
 - 学問の中立性・科学性とはなにか
 - 公害事件に第三者はいるのだろうか
- 一人一人の水俣学
- 将来の人生の中で活かそう
- 研究を進めよう→ 大学院で深める

電力会社としてのチツソ メガソーラー・太陽光発電所

八幡社宅跡の発電所

2,300kw(年間約870戸分)



水俣塩浜発電所(九電工)

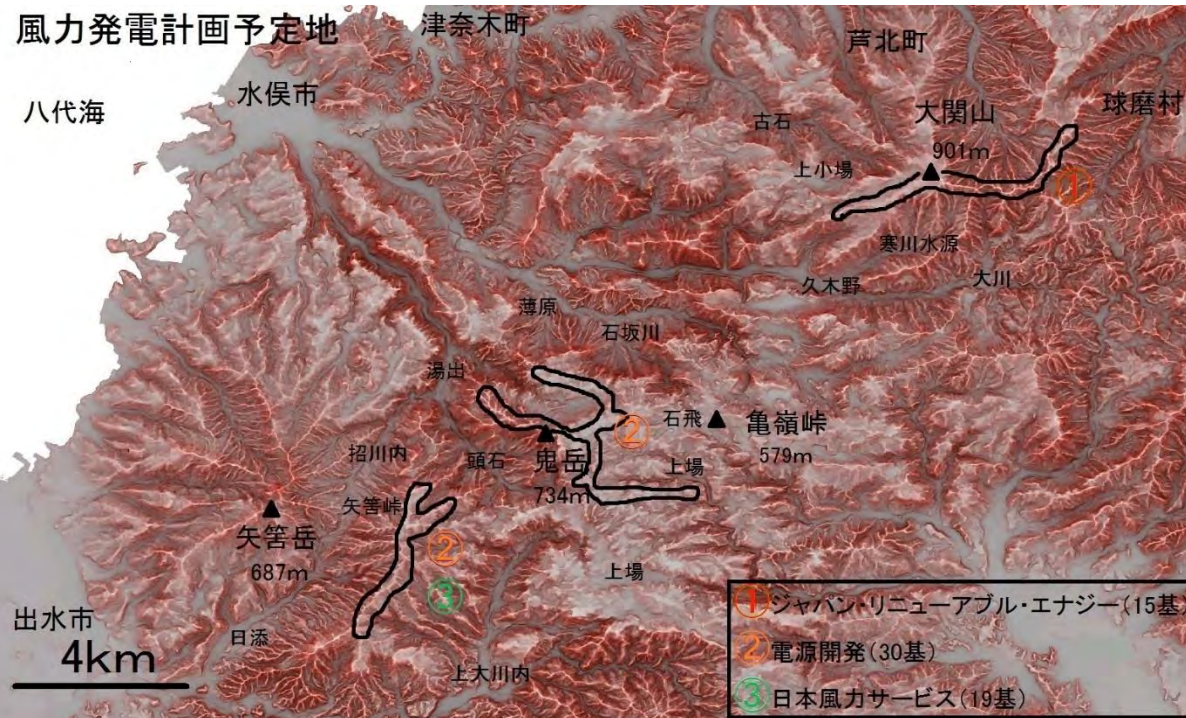
7,773kw(約2600戸分)



再エネによる新たな環境問題水俣市長野 地区のメガソーラー発電所(宮北隆志氏撮影)



水俣・芦北・出水地域に計画されている風力発電 完成すれば、発電量は日本最大級



ご清聴ありがとうございます

